

東広島植物園では、園内での活動を中心に、温室や圃場で見られる季節の花など、さまざまな情報を紹介しています。

☆組織改編・・・植物管理室は、2019年4月より統合生命科学研究科・附属宮島自然植物実験所の所属となりました。

中国・四国地区技術職員研修

2019年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員研修が8月28-30日に広島大学にて実施され、2日目は分野別実習「植物採集から分析」を行い、技術職員10名が受講されました。



当日は、時折雨の降るあいにくの天気でしたが、管理室で植物の見分け方を学んだあと、生態実験園や発見の小径にて、実際に樹木を観察しながら、葉による同定を体験しました。



総合博物館にも立ち寄り、広島大学の自然環境について学芸員の佐藤さんに解説していただきました。午後からは、遺伝子実験施設に移動し、山口技術職員により質量分析装置による同定方法について実習を行いました。各大学・高専間の技術職員同士の交流もあり、有意義な研修となりました。



両生類研究センターの見学もしました

中学生職場体験

植物園では、花壇作業、植栽管理、農作業のほか自然保護活動など植物に関するさまざまな体験ができます。



東雲中学特別支援学級2年生6名の職場体験が、7月10、12日に行われました。生徒たちは、花壇作業、苗の定植、畝作り、種まきとたくさんの仕事に挑戦しました。



附属幼稚園の田植え・サムエル保育園のビオトープ体験

5月31日、附属幼稚園年長組27名による田植えが行われました。7月8日には、年中組さんといっしょに苗の成長を見て、川あそびをしました。



園内での川遊びは、園児たちに人気の体験です。

また、5月9、14日には、サムエル子どもの園より、ぞう組、きりん組のみなさんが大学に遠足に来られ、ビオトープにて生きもの体験を行いました。このように毎年、近隣幼稚園の園児たちが自然体験に大学を訪れます。



田植えをする附属幼稚園の園児たち。はじめは、大学生のお兄さんも上手く対応できませんでしたが、最後には園児たちとの息もあって、楽しい田植えとなりました。

栽培実習・H31 春コース



H30年春コースは、予定通りの内容を終了しました。今回は、平成最後の記念すべき講座となりました。暑い中でも、みなさんいつも楽しそうに作業をされていた姿が印象的でした。その成果もあって、立派な野菜がたくさん収穫できました。最後には試食会も行いました。



しっかり実って収穫したトウモロコシはとっても甘く、美味しかったです。



生物バザール

「広島県の理科教育に支援をしています」



5月17日、広島県教育センターにて、生物バザールが実施され、ラッカセイ、ユキノシタ、オジギソウ、ワタなど教材植物苗の提供を行いました。コケの提供も充実しています。



コケを担当した植物教室の学生

フィリピン高校生の自然観察

総合科学部国際供創学科の先生からの依頼で、フィリピンからの高校生20名に自然ガイドを行いました。当日は、埋蔵文化財調査部門の藤野先生が遺跡展示を説明され、その後、発見の小径にて自然観察ガイドを行いました。



園内の花

シカクマメ *Psophocarpus tetragonolobus*



マメ科
熱帯アジア原産で、葉、花、さや、種子、イモなどすべての部分が食用となる。沖縄では、うりずん豆と呼ばれる。近年、緑のカーテンとしても注目されている。

園内の植物

ハナシュクシャ *Hedychium coronarium*



ショウガ科
インド～マレーシア原産。ハナシュクシャの花は白色だが、黄色やオレンジ色の品種も存在する。地下に根茎がありそこから葉が出る。茎のようにみえるのは、偽茎。



【お問い合わせ先】

広島大学 統合生命科学研究科
東広島植物園

TEL:082-422-7111
(内線2842)

E-mail: tshioji@hiroshima-u.ac.jp